



2025 年 8 月 12 日

会 社 名 株式会社ヒューマンクリエーション
ホ ー ル デ ィ ン グ ス
代 表 者 名 代表取締役社長 富 永 邦 昭
(コード番号：7361 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役
管 理 本 部 長 河 邊 貴 善
(TEL. 03-5157-4100)

ヒューマンクリエーションホールディングスが 2025 年 9 月期第 3 四半期決算を発表
3Q 単期売上高は前年同期比 **20.7%増**。
成長戦略の核となる戦略領域の売上構成比が **40%超**へ。

当社は、本日 2025 年 8 月 12 日、2025 年 9 月期 第 3 四半期決算を発表致しました。
売上高は、前年同期比 20.7%増の 2,226 百万円、営業利益は同 6.4%減の 168 百万円。成長戦略の核として注力する戦略領域は、24/9 期下期より徐々に積み上げた案件実績をアピール材料とした営業活動が本格化し、前年同期比 62.0%増と上期に引き続き高伸しました。営業利益については、PMI コストやソリューションプラットフォームの基盤構築費用など一過性費用の影響で減益となりましたが、正常収益力は確実に成長しております。

■2025 年 9 月期 第 3 四半期ハイライト

【3Q 業績サマリー】

売上高は前年同期比で 20.7%増の 2,226 百万円、営業利益は同 6.4%減の 168 百万円となりました。特に戦略領域の売上高は 62.0%増加し 904 百万円と順調に進捗しています。なお、3Q 累計の売上高は 6,298 百万円、営業利益は 547 百万円で、それぞれの進捗率は、連結業績予想の修正値に対し、売上高が 70.7%、営業利益が 86.1%となっています。

四半期業績実績と増減率

(百万円)	24/9期		25/9期		3Q	増減率	
	3Q	4Q	1Q	2Q		YoY.%	QoQ.%
売上高	1,844	1,902	2,013	2,057	2,226	+20.7%	+8.2%
└戦略領域*	558	573	667	752	904	+62.0%	+20.2%
└SES*	1,286	1,328	1,346	1,305	1,322	+2.8%	+1.3%
EBITDA	213	208	244	200	218	+2.4%	+9.0%
営業利益	180	175	212	165	168	△6.4%	+1.7%
親会社株主利益	109	113	132	41	91	△16.5%	+119.2%
EPS*(円)	33.38	34.72	40.60	13.03	29.63	△11.2%	+127.3%
調整後 EPS*(円)	-	-	-	37.02	-	-	-

※2Q のみ会計上の理由で調整を要したため、調整後 EPS を表記しています。

【売上高の四半期推移】

過去2四半期、戦略領域はQoQでも2桁増収を確保し全社成長を牽引しています。一方、SESは戦略領域への人員シフトや旧CLSの離職増もありましたが、QoQで微増となりました。特に、事業成長の核としている戦略領域の売上がYoYで62.0%増となり、全社売上高に占める戦略領域の売上構成比が初めて40%を超える結果となりました。

25/9期 第3四半期業績

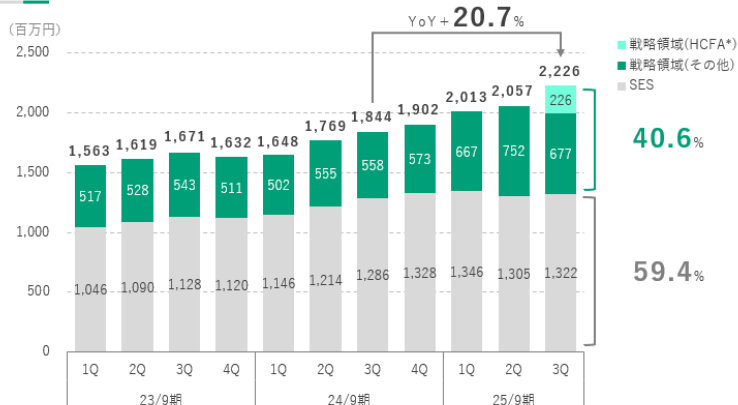
売上高の四半期推移



HCFAの新規連結効果が加わり、全社売上高の約4割を戦略領域が占めるまで収益構造転換が進んだ。

SESは、旧CLSの離職増影響等で落ち込んだ2Qに対し、生産性を意識した人材/案件獲得でQoQ増収を確保した。

売上高の四半期推移



- 25年4～6月期の全社売上高は、YoY**20.7%増**の2,226百万円だった。
- 重視する戦略領域は、HCFA新規連結効果を享受し、YoY**62.0%増**と力強く成長した。この結果、全社売上高の**40.6%**を戦略領域が占めた。また、24/9期下期より積み上げた案件実績をアピール材料とした営業活動から、HCFAを除いてもYoY**21.4%増**と順調に拡大した（ただし、年度末で需要が集中した2Q比(QoQ)では減収した）。
- SES売上高は、YoY/QoQ共に微増収だった。高単価/高付加価値を享受すべく中級レイヤー以上に特化した採用を進めた結果、戦略領域への人員シフトや旧CLSの離職をカバーし切れず人員は純減した。一方、人員構成の上位レイヤーへのミックス変化や契約単価見直しから、単価水準が1段切り上がったことで、売上高ベースでは増収を確保できた。

【バランスシートと自己資本比率の四半期推移】

25年6月末の自己資本比率は31.8%で、引き続き、資金効率よく創出Cashを再投資または株主還元に向け、スピーディな企業価値向上を実現してまいります。

25/9期 第3四半期業績

バランスシートと自己資本比率の四半期推移



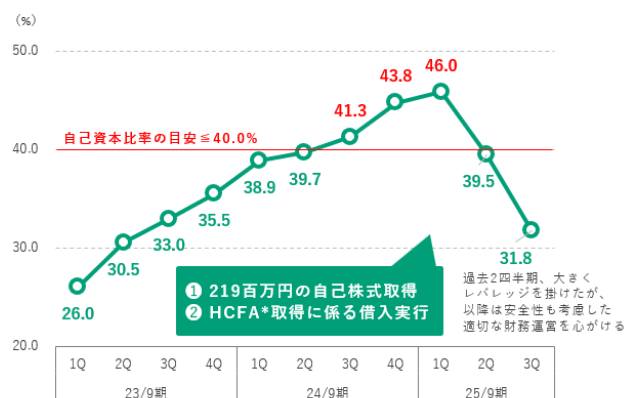
25/9期は、HCFAの取得や約2.2億円の自己株式取得と、新設定した財務資本戦略*に則り大きく動いた。

自己資本比率は**31.8%**となったが、適切なdebt活用及びWACC引き下げで、企業価値向上に寄与すると考える。

直近四半期のバランスシート

	25/6末		25/6末
(百万円)		(百万円)	
資産合計	4,355	負債合計	2,947
└流動資産	2,352	└買掛金/未払金/未払費用	674
└現預金	1,158	└有利子負債	1,322
		Net debt 163	
└売掛金	854	└未払法人税	95
└固定資産	2,002	純資産合計	1,407
└のれん	1,235	└自己資本	1,383

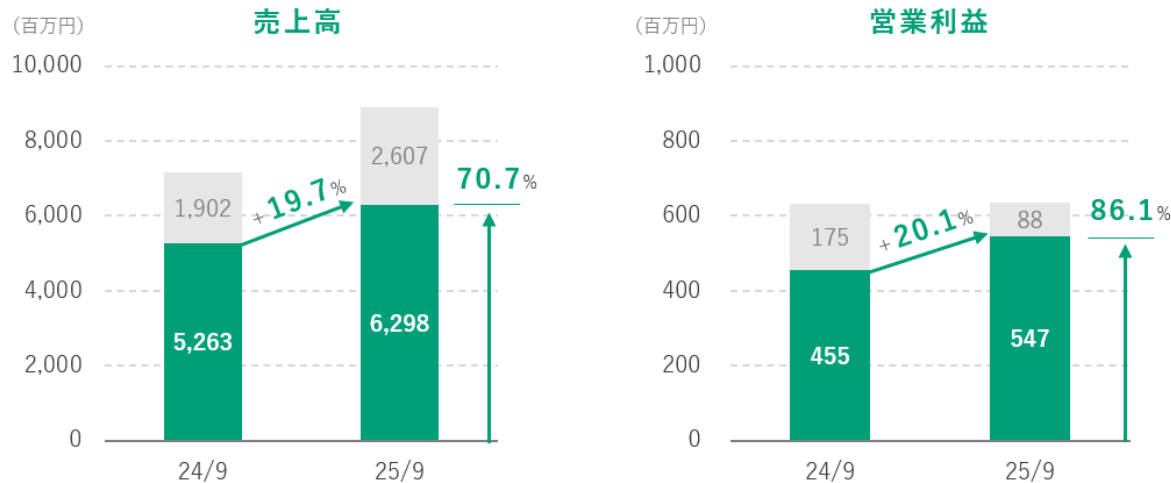
自己資本比率の四半期推移*



■通期計画の進捗状況

25/9 期の通期業績予想の修正に対する 3Q 進捗率は、売上高が 70.7%、営業利益が 86.1%を確保しました。特に営業利益の進捗率が目安の 75%を大きく上回っておりますが、26 年 9 月期以降の持続的な成長に向けた先行投資を見込んでいるため、現段階では業績予想を据え置いています。

売上高と営業利益の成長率と進捗率



■中長期経営方針（再掲）

【計数計画】

24/9 期は戦略領域の計画未達幅が大きくギアの入れ替えが必要と判断したことから、2024 年 11 月に、30/9 期を最終年度とする 6 ヶ年の中長期経営方針にリバイス致しました。

計数計画につきましては、2nd ステージ最終年度にあたる 27/9 期は、M&A を含む積極投資による規模拡大と事業構造の転換をテーマに、売上高 12,000 百万円を実現いたします。3rd ステージは、投資回収とシナジー創出に重きを置き、最終年度である 30/9 期に、EPS1,000 百万円（24/9 期比 4.0 倍）と、ROE30%超にこだわります。なお、EPS は、2024 年 11 月に発表した株式分割考慮前の数値であり、**株式分割考慮後の目標値は 500 円**となります。



【中長期経営方針における HCFA 買収の位置付け】

完全子会社化によって、HC フィナンシャル・アドバイザーの業績が新規連結されるだけでなく、当社と HC フィナンシャル・アドバイザーの知見を掛け合わせることで、経営コンサルティング領域への業容拡大とシナジー創出による既存事業の成長加速が可能となります。当社が中長期経営方針で掲げる EPS1000 円（分割後 500 円）の達成確度向上に寄与するものと考えています。

中長期経営方針におけるHCFA買収の位置付け

HCFAの業績が新規連結されるだけでなく、経営コンサルティング領域への業容拡大とシナジー創出による既存事業の成長加速により、中長期経営方針の早期達成を目指す。

- 新たなM&A案件による成長
- HCFAによるM&A仲介手数料による成長
- 既存事業のオーガニック+シナジーによる成長



■EPS1,000 円へのシナリオ

EPS 1,000 円（株式分割後 500 円）の実現に必要な 4 大要素を順に反映する 4 つのシナリオによる補足説明です。

シナリオ A：過度に資金を滞留させない、シナリオ B：M&A など再投資を強化する、シナリオ C：M&A シナジーを創出する、シナリオ D：各子会社で持続成長をする、としてシミュレーションによる数値計画も公表しています。なお、本シナリオは一定の条件設定に基づくシミュレーションであり、中長期経営方針としてコミットする値ではない点にご留意ください。

EPS 1,000円の実現に向けた補足説明

新中長期経営方針の発表後、投資家より「EPS 1,000円の蓋然性が分からない」とのコメントを受けました。このため、EPS 1,000*円の実現に必要な4大要素を順に反映する4つのシナリオによる補足説明を用意しました。

一定の条件設定に基づくシミュレーションであり、中長期経営方針としてコミットする値ではない点に、予めご留意ください。

	シナリオA	シナリオB	シナリオC	シナリオD
1	過度に資金を滞留させない	過度に資金を滞留させない	過度に資金を滞留させない	過度に資金を滞留させない
2	M&Aなど再投資を強化する	+	+	+
3	M&Aシナジーを創出する	M&Aシナジーを創出する	+	+
4	各子会社で持続成長する	各子会社で持続成長する	+	+
	仮に全く収益拡大せずとも、財務適正化→自社株買いで、EPSは6ヵ年で 564 円になる	売上高5億円、利益率5-6%の企業を毎年1社M&Aできれば、EPSは6ヵ年で 748 円になる	売上高+5%、利益率+0.1pptのシナジーが毎年実現できればEPSは6ヵ年で 1,016 円になる	25/9期の売上高計画を達成し、以降+10%/年売上成長すれば、EPSは6ヵ年で 1,850 円になる

注：2025年1月1日を効力発生日に1：2の株式分割を実施しております。本分割を考慮すると、目標EPSは500円となります。

■ 詳細のご案内

詳細は当社 IR ページに掲載している 2025 年 9 月期 第 3 四半期 決算説明資料をご確認ください。

URL : <https://hch-ja.co.jp/ir/news/>